

令和6年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 若園 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、6年生を対象として、令和6年4月18日（木）に、「教科（国語、算数）に関する調査」、文部科学省が指定した日（4月10日から4月30日の間）に「児童質問調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査（国語、算数）

教科に関する調査（国語、算数）	
①	身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
②	知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

- (2) 児童質問紙調査

児童質問紙調査
○ 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

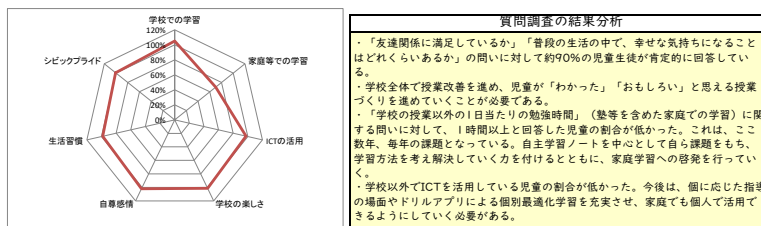
- (1) 全国・本市の学力調査（国語、算数）の結果

本年度の結果	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	9.3	66	9.6	60
全国	9.5	68	10.1	63

- (2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	全国平均をわずかに下回った。漢字を正しく使ったり考えを記述したりする問題に対する無回答率が高い。長文を読んで答える問題はよくできている。しかし、話すことや聞くことに関する問題の正答率が低い。	全国平均正答率との比較
	よくできた問題	物語を読んで、心に残ったことと理由を記述する問題	下回っている
	努力が必要な問題	メモから整理したものの説明として適切なものを選択する問題 漢字を文の中で正しくつかう問題	
算数	全体的な傾向や特徴など	全国平均をわずかに下回った。全ての領域において、思考力や判断力を問われる問題に課題がある。	全国平均正答率との比較
	よくできた問題	直方体の見取図についての理解を問う問題	下回っている
	努力が必要な問題	速さについて、自分の考えやその理由を記述する問題	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問調査結果の概要



5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

- ① 教科に関する取組

- タブレット端末を活用した個別最適化学習の継続
- 専科授業や持ち合い授業の充実
- 学力向上のための朝の活動（国語タイム・算数タイム）
- 教職員間で学力調査からの課題を共有する。スクールプランの見直し。

- ② 家庭生活習慣に関する取組

- 家庭学習定着のために
 - ①自主学習ノートの活用を充実させる。（手本となるノートの紹介・内容の例示等）
 - ②家庭学習の意義や進め方などを発信する。（学年通信・学級通信等）
- 生活リズムが整った健康的な生活づくり
 - ①保健だよりや食育だより等での啓発
 - ②学校栄養教諭による食育指導・養護教諭による保健指導等